



4月から小学生 国府幼稚園お別れ遠足（城山公園）

議会だより

第168号

2013年（平成25年）4月26日発行

大 正 集

3月定例会（2月15日～3月15日）

- 新条例5本を付託審査し、可決…………… 2・3
- 子ども・子育て会議を設置…………… 4
- 国府小学校トイレ改修費など補正予算を可決 …… 6・7
- 25年度予算・一般会計は修正可決 …… 8～12
- 町政のここが聞きたい 一般質問 …… 14～18
- 閉会中の調査事項・ごみ処理広域化…………… 19
- 議会報告会にご参加ください…………… 20

3月定例会

(2月15日～3月15日)

●新条例が5本制定された。いずれも地域の自主性と自立性を高める目的の国の法律改正を受けたもの。実質的には今まで行ってきたことと変わりはないが、ある程度、町独自色を盛り込んだものになった。

指定地域密着型サービス事業所の設置・運営基準等を条例化

介護保険法の改正を受け、町の指定地域密着型サービスの事業の人員、設置、運営等に関する基準を条例で定めるもの。

付託された福祉文教常任委員会及び本会議において、全会一致で可決した。

苑も同様の状況。

また、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の事業所は、こゆるぎの家と悠悠苑の2カ所で、共に18人の定員が満室である。それ以外の施設は現在ない。

主な質疑

問 条例に8タイプのサービス事業があるが、町内の施設設置状況と定員、利用状況は。

答 認知症対応型通所介護（デイサービス）を行う事業所は、こゆるぎの里と悠悠苑の2カ所。こゆるぎの里の登録者は12人で、1日の利用は多い日で10人。悠悠

問 介護に従事した経験者が随時働くことができる環境整備は。

答 事業者からも介護従事者の確保が難しい状況と聞いており、新たなサービスの必要性で適正な人員を検証。

問 地域密着型サービスは、原則として町内に住んでいる人が利用となっているが、

町外施設との相互協力はあるか。

答 今までも相互協力をしているが、家族状況を含め、今後必要な場合は町外施設へ依頼する。町外の方の入所もあり、行政間で協議を行う。

問 記録の保存期間は2年から5年に延長

されるが、保存方法は。また、今まで記録がなく困った事例があるか。

答 電子データで事業所が保存。困った事例はないが、5年間遡って町が事業者に給付を返還請求できるように、記録の保存期間を延長することとした。

指定地域密着型介護予防サービス事業所の設置・運営基準等を条例化

町の指定地域密着型介護予防サービスの事業について、上記の条例と同様の基準を条例で定めるもの。

答 ビスの提供体制の確保とは。

付託された福祉文教常任委員会及び本会議において、全会一致で可決した。

答 グループホームは医師が常駐しないため、常に医療機関との連携を取り、利用者 の身体状況に対応する。

主な質疑

問 医療機関等のサービス

問 苦情処理の流れは。

町の責任が重くなることを考え、理事者は職員配置を十分にいき、条例の運用を望む。

賛成討論

賛成討論

道路構造等の基準を条例で規定

道路法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正を受け、町道における道路構造等の基準を条例で定めるもの。

付託された総務建設

常任委員会及び本会議において、賛成多数で可決した。

答 「神奈川県のみ

なのバリアフリー街づくり条例」に準拠して、これまでも整備を行ってきた。今後は、本条例を適用した道路整備を行っていく。

問 歩道と道路の段差

において、高齢者・障害者に不具合な箇所の対応は。

答 今後の調査で、改善が必要な箇所は対応していきたい。

問 「高齢者、障害者

等」には、乳幼児を含む子どもたちも該当するののか。

答 子どもや妊娠している方も対象にしている。

問 高齢者、障害者等の移動等の円滑化のため、調査の上、整備しているののか。

問 横断歩道の段差について、県道も含め町の対応は。

答 バリアフリー基本構想では、大磯駅周辺と国府支所周辺のエリアを優先的に整備したい。他路線の危険箇所は改修、維持補修をしていく。

問 この基準は各町道の改修全てに当てはめていくののか。

答 生活道路的な要素の強い道路が多いことから、道路構造令に縛られることなく、現状を把握した中で臨機応変に対応したい。

新型インフルエンザ対策本部の設置を条例に規定

新型インフルエンザ

等対策特別措置法の成立を受け、新型インフルエンザ等緊急事態宣言が発令された場合、町は対策本部を設置する。本部組織等の規定を条例で定めるもの。付託された総務建設常任委員会及び本会議において、全会一致で可決した。

主な質疑

問 どのような場合に

緊急事態宣言が発令され、対策本部を設置せよとなるののか。

答 蔓延することによ

って日本経済や国民の生命・財産に影響を及ぼす場合に発令される。WHOがフェーズ4という形で発令、国の緊急事態宣言を受け、市町村が本部を設置する。

準用河川の管理施設等の基準を条例で規定

河川法の改正を受け、準用河川の管理施設等の構造基準を条例で定めるもの。

付託された総務建設

常任委員会及び本会議において、全会一致で可決した。

答 より整備するの

か。鳴立川など普通河川として町が管理している河川は、この基準ではなく、町独自の基準で管理している。

主な質疑

問 準用河川の血洗川

と小桜川の2河川以外の大磯町を流れる河川は、この基準に

答 全ての構造に合っ

た形で整備している。



準用河川の血洗川 (西小磯)

大磯町子ども・子育て会議を

町長附属機関に位置づけ

子ども・子育て支援事業計画の策定など、調査審議するための機関として「大磯町子ども・子育て会議」を設置し、町長の附属機関に加える。

会議委員は、教育・保育施設の管理者、保護者、公募町民など14名以内を予定。あわせて、会議委員の報酬を定めるもの。

4月1日から施行。

主な質疑

問 町長の附属機関だが、子育て支援は教育委員会が行っている。連携はとれるか。

答 町全体で取り組む事業・制度と考へ、組織体制は町部局も含めた中で、人員配

置等万全な体制で取り組む。

問 子ども・子育て3

法は、保育所の待機児童、放課後の安全安心、幼保の一元化等がきっかけでできたが、今後の計画は

答 保育・教育などを必要とする保護者の

あらゆるニーズの把握を行い、事業計画策定に取り組む。

問 ニーズ調査はどの

ようになっているのか。

答 国は希望自治体へ事前のプレ調査を予定している。この調査を参考に、町でもニーズ調査を検討していく。

問 共通の給付を創設

するというが、今後、幼稚園や保育園の入所基準はどうなるのか。また、国・県・

町・利用者の負担はどのようになるか。

答 財源は消費税を中心とし、負担率は未定だが、国・県・町が応分の負担をする。

利用者負担は、今の負担水準を維持し、所得に応じた負担が基本。国からの基準提示により、新たな条例改正になる。

問 学童保育の運営、

利用の影響と変更は。

答 現在、4年生未満の対象年齢を廃止、6年生までに拡充。

全会一致で可決

障がい者の日常・社会生活を

総合的に支援

国における障害福祉

施策の見直しにより、引用する3本の関係条例を改正するもの。

4月1日から施行。

主な質疑

問 共同生活介護が共

同生活援助に一本化されるが、町の障がい者へのサービス内容は変わるか。

答 ケアホームは入浴

や排せつ、食事の介護を受ける共同生活介護サービスを提供し、グループホーム

は共同生活上の相談や援助をする共同生活援助を行う。

一本化で社会参加の確保や地域社会における共生等を積極的に提供していく。

全会一致で可決



一般廃棄物処理施設技術管理者の資格を規定

主な質疑

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正を受け、町が設置する

一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する基準を定めるため、関係条例の規定の改正を行うもの。

問 大磯町職員の中で

資格者の人数と配置状況は。

答 全部で4名おり、

1名は環境美化センターのし尿処理施設で、1名はごみ処理施設に配置している。

全会一致で可決

秋葉 弘美氏 (56歳)

西小磯

小嶋 正夫氏 (71歳)

大磯

曾根 伸子氏 (62歳)

大磯

細谷美智子氏 (70歳)

大磯

人権擁護委員
4名の推薦に同意

都市公園条例に公園施設の設置基準を規定

都市公園法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正を受け、

都市公園及びバリアフリーに必要な公園施設の設置基準などを定めるため、関係条例の規定の改正を行うもの。

問 今後の改修等の計画立てはどうか。

答 財政事情等もあり、

国の交付金等を考え、鋭意努力する。

問 少子高齢化という

時代の中、街区公園に高齢者のストレッチ

子器具を置き、コミ

ュニケーションの場

とする考えは。

答 余暇を過ごす上で、

公園は重要と認識している。整備に努力

したいと考える。

全会一致で可決

主な質疑

問 経過措置というこ

とで、現在バリアフリー法に合っていない公園があるが、今後、どうしていくのか。

答 適合していない公

園が大分あり、大規模改修の際には適用するよう整備していく。



運動公園のストレッチ器具

町営住宅

整備等基準を規定

公営住宅法の改正を受け、公営住宅に係る整備基準、入居収入基準等を町の条例で定めるため、関係条例の一部改正を行うもの。

主な質疑

問 整備基準と入居収入基準を盛込むが、

低所得者対策として今後、町営住宅をつくる計画はあるか。

答 今後、新たにつく

るかは検討を行う。

万が一、災害等の復興でつくる場合も考えられることから、整備基準を規定した。入居基準の収入額を上げると、低所得者が入居しにくくなるので、限度額については据え置きする。

問 町営住宅のストック

計画での必要戸数は

はいくつか。町や民

間が町営住宅を建て

る場合、この基準を

使うということか。

答 平成26年度までの

計画では、月京と東

町の2カ所に町営住

宅を集約し、必要戸

数は69となっている

が、見直しを行って

いく必要がある。

民間借上げの場合、

全会一致で可決

基準に合致した建物となる。

問 整備基準において、

鉄筋コンクリート造

でないといけないの

か。

答 基準はないが、耐

火構造・耐用年数を

考え、月京住宅は鉄

筋コンクリート造で

建てた。

下水道の構造・維持管理基準を規定

下水道法の改正を受け、本町における公共下水道及び都市下水路の施設等の構造に関する基準を定めるもの。

主な質疑

問 下水の貯留などで、腐食しないステンレ

スの材質にするとあるが、現在の工事はこの基準に合わせているか。

答 この基準に合ったものである。

全会一致で可決

国府小学校トイレ等改修工事 10月完成予定

24年度3月補正予算は
初日と最終日に審査・可決

一般会計	3,878万円増額
〔初日〕	5,205万円減額
〔最終日〕	9,083万円増額
特別会計	
国民健康保険事業	5,850万円増額
介護保険事業	1億6,061万円増額
下水道事業	100万円減額
	(1万円以下は四捨五入)

3月定例会では、初日に例年行う事業規模の確定による清算等と、安倍内閣による国補正を受け計上した補正予算を最終日に審査した。

主な質疑

妊娠出産前支援事業

問 妊娠出産前支援事業が83万8千円減つた理由は。

答 昨年度並の出生数を見込んだが、今年度は40人ほど減つたため。

介護保険サービス

問 サービス給付費が1億6千万円増えた原因は。

答 1件あたりの給付額が増えている。サービスの報酬が変わったことや、医療系のサービスの伸びの影響が考えられる。

駐輪場委託料

問 シルバー人材センターの管理委託料で消費税分の86万4千円が必要になったのはなぜか。

答 人材センターの事務費を消費税の対象として契約したが、税理士等に確認したところ、人件費分を含む委託料全体が対象となることが確認されたため。

女性のがん検診

問 女性特有のがん検診等推進事業が185万8千円減額された理由と、取り組み状況は。

答 無料クーポン券を渡しているが、新規の受診者が見込みより少なかった。受診率を上げるために電話をしたり、「おあしす24健康おおいぞ」等で検診を勧めている。

電気料金値上げ

問 本庁舎の電気使用料が100万円増額された理由は。節電対策は進んでいるのか。

答 当初予算は1千82万円を組み、PPS事業者と契約、基本料金が18%減った。使用料の値上げ率は東電と同じ7%で、使用量自体も増え、補正が必要になった。節電には引き続き努力し、LED化も進めていく。

私立こいそ幼稚園補助

問 当初予算の3千965万円のうち、59万9千円が必要なくなつたが、内訳は。

答 当初は81名分を見込んだが、78名に決まった。保育料・入園料で35万6千円、園服等の用品代で24万3千円の減で、全体で59万9千円となる。

町有建物貸付料

問 駅前洋館の貸付料298万5千円減額の理由は。

答 当初は月額60万円の貸付料を9カ月分見込んでいたが、利活用事業者の選定期の遅れと、決定した賃料が月額46万円となり、差額が出たことによる減額。

賛成多数で可決



これからお出かけ・デイサービス

マリア道

問 マリア道の事業で9千124万円を次年度に繰り越すのは納得できないが、用地買収の進み具合は。

答 約31%買収できた。工事費の1千270万円は24年度に執行するが、その他を繰り越すもの。

最終日の補正案は、

国の元気臨時交付金を活用した一般会計のみで、9千82万7千円を追加するもの。

年度内の執行はできないため、繰越明許となった。

を前倒しし、繰越し

て25年度に執行するが、当初予算の県補助金約900万円がないのはなぜか。

避難所としての機能の関係で計上した。県と調整し、他の場所で使いたい。

契約の提案を予定。可決されれば10月末完成する見込み。

2カ所の道路補修

問 石神台の幹線30号線は傷みが激しいが、何年ぐらい舗装の打ち替えをしてこなかったのか。

答 ヒビ等が40%以上の道路が対象となる。約20年前から補修し

ていない400m区間である。

問 大磯小学校から駅に向う幹線12号線も傷んでいる。通学路だが、安全な工事となるのか。

答 20年前舗装した部分で、基本は夜間工事とし、安全確保の上、工事を行う。

議会の条例と規則を改正

地方自治法の一部改正を受け、地方議会等の適切な権限行使の確保等について必要な改正が行われた。

○規則で定めていた「政務調査費」の使用基準を条例に組み込む。

主な改正内容

○「政務調査費」という名称を「政務活動費」に変更する。

○公聴会の開催と参考人の招致ができる規定を議会規則に追加する。
それぞれ3月1日から施行。

全会一致で可決

全会一致で可決

副町長に栗原匡賢氏（65歳）

まさかた

2年間空席だった副

町長の人事案件が、最終日に提案された。

神奈川県に入庁後、

総務、広報、衛生職を歴任され、病院事業庁病院局長を勤め退職。

その後は神奈川県町村会事務局長を5年間勤められた方である。

主な質疑

問 町長はこの方にお会いしたのか。何を期待されているか。

答 栗原氏が町村会の事務局長時代に初めてお会いした。県に対し町の状況を率直に述べ、交渉のできる方と期待する。

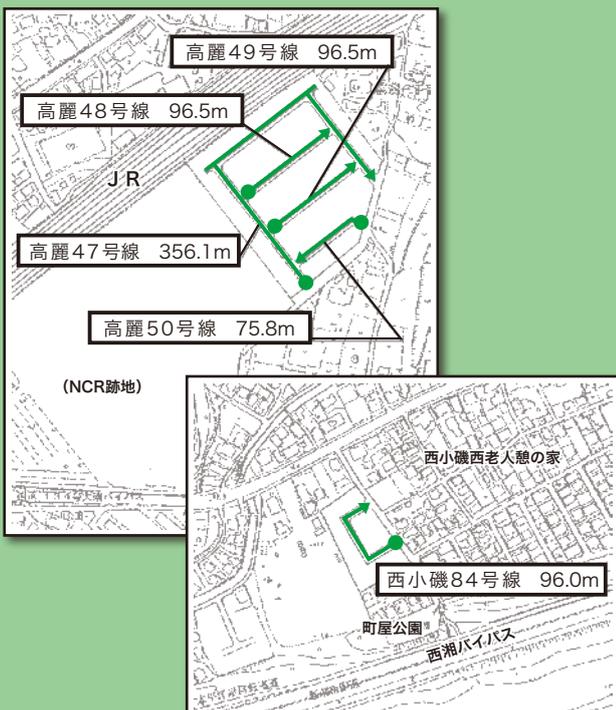
問 事務方のトップとして迎える方だが、町長の副町長職の認識は。

答 町長の職務代理、補佐する命を受けて政策企画を行うなどがあるが、職員の統括をする立場と考えている。

全会一致で可決

町道5路線を認定

開発行為により、土地の寄附を受けた道路用地を全会一致で認定した。



平成25年度予算 一般会計は修正可決

唐突な火葬料補助金の減額を修正

平成25年度予算歳入歳出額
総額約177億8,000万円 (△0.1%)

○一般会計	90億	600万円 (△3.0%)
○特別会計		
国民健康保険事業	39億8,700万円	(1.5%)
後期高齢者医療	6億9,000万円	(2.2%)
介護保険事業	24億8,500万円	(10.0%)
下水道事業	16億1,200万円	(△2.2%)

※1万円未満は四捨五入 ()は前年度対比



25年度を『創年の年』と位置づけ
予算案を提案する中崎町長

町長の施政方針（抜粋）

2月15日、施政方針
演説として25年度予算
の提案が行われた。

平成22年12月15日に
町長に就任し、町政運
営の折返し地点を迎え
た。これまでの取組み
を発展させるため、25
年度を『創年の年』と
位置付けた。

次の五つの重点事項
を掲げて事業展開をし
ていく。

観光

歴史・景観・健康・
食文化の4要素を結び
つけ、新しい観光のま
ちづくりを町民と協働
で進め、地域の活性化
を図り、安定した経済
基盤を創り上げていく。

子育て支援

質の高い幼児教育・
保育の提供、待機児童
対策などの子育て支援

の充実に向け、子育て
しやすい環境を整備し、
若い世代が集う魅力的
な町を創り上げていく。

健康づくり

「おあしす24」を通
し予防医学の大切さを
普及し、健康増進活動
を進めていく。

廃棄物対策

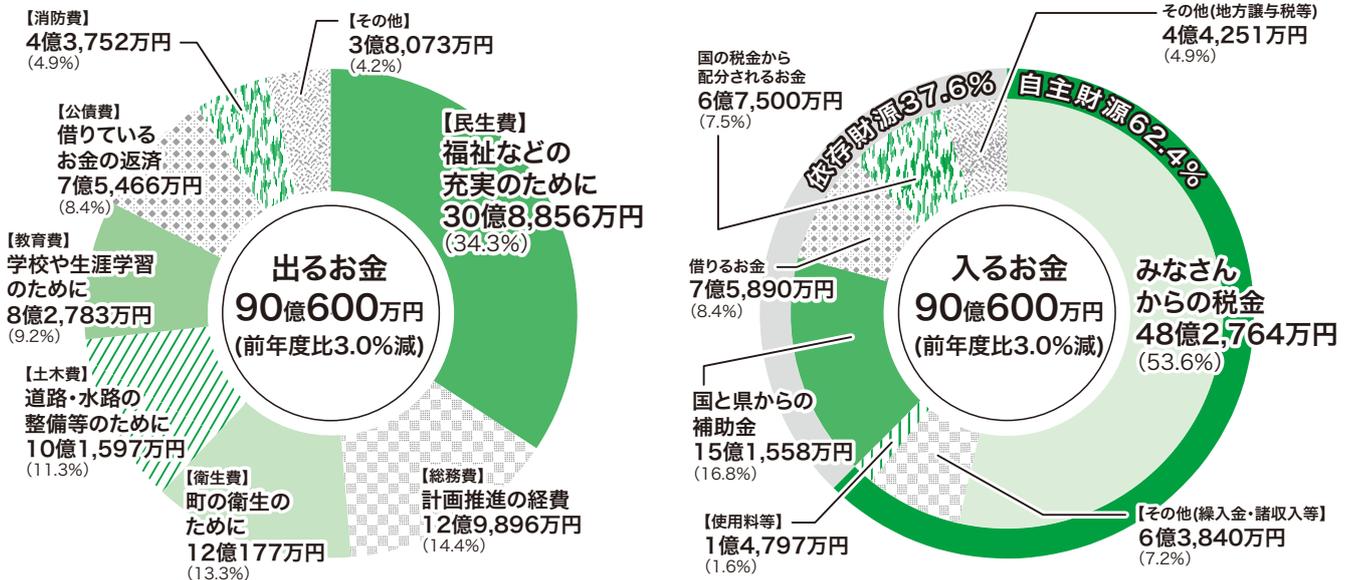
1市2町ごみ処理広
域化がスタートする。

ごみ処理に係る経費削
減のため、ごみの分別
方法の徹底、減量化・
資源化に努めていく。

危機管理対策

東日本震災以降、
災害に強いまちづくり
に向けた取組みを実施
してきた。職員の危機
管理意識の向上、町民
と関係機関との情報共
有を徹底し、様々な危
機に対応できる体制整
備に引き続き取り組む。

平成25年度一般会計の構成



総括質疑・5名から28問

町長の施政方針を受け、5名の議員から予算に対する総括質疑が行われた。

主な質疑

購入した駅前 土地の活用は

を検討する委員会を早い時期に立ち上げ、町民の皆さんの意見をいただいでいきたい。

**残る任期で、改革を
実践に移すべきでは**

問 先に購入した駅前洋館につづき、マンション建設予定地も駐輪場を新しく整備する目的で購入した。海へ続く道とは口の両サイドを町が所有することになった。

問 卓話集会はマンネリ化している。人集めに多くの職員が苦勞している現実がある。見直さないか。

町長の任期はあと2年しかない。昨年は『改革の年』とし、今も改革がまだ道半ばであるのに、25年度を『創る年』だという。

町長 駅前の5千平米の土地に駐輪場は必要だ。そのことを要素の一つとして、土地利用

もう言葉だけでは事は進まない。実践に移すべきではないか。

町長 卓話集会は4年間やめるつもりはない。改革はある意味で計画の立案である。残りの2年間で、意識改革・財政改革・行政改革の3つの改革の集大成という形でつくっていかねばならない。その意味で『創る年』と申し上げた。

問 卓話集会はマンネリ化している。人集めに多くの職員が苦勞している現実がある。見直さないか。

国との財源等の 関係はどうか

問 危機突破内閣と位置つけた安倍内閣で、公共事業の拡大の一方で社会保障や人件費の抑制、地方交付税の削減が見込まれる。生活保護費の基準の

引き下げで住民税の非課税、就学援助、医療や介護の高額療養費の基準が下がり、生活が苦しくなる住民が増えるのではないかと。どのように対応するか。

町長 地方交付税の算定基準は国の動向により毎年見直される。前年比2.2%の減額を見込んだ。生活保護費の改定による影響は極力避ける。

行政評価の結果で 予算編成に反映したものは

問 行政評価の結果で予算編成に反映したものは。

町長 火葬料、耐震改修補助等、3事業を見直した。

問 危機管理対策への予算付けは妥当か。



駐輪場等の検討が始まる駅前用地

町長 非常用自家発電施設整備、公共施設の耐震化、防災行政無線基地局の非常用代替施設整備に予算付けをした。職員の健康管理については、職員の声を聴いてやる場をつくっていきたい。

産学協同の具体的な 取り組みと予算は。

町長 医学機器メーカー、早稲田、東海大学等の協同で「おあしす24健康おおいそ」事業の効果を数値化していく。大学の研究費、企業の開発費で賄う。

中学生・防災学習 事業の実施予定は

問 24年度の補正予算で中学生の防災学習事業が修正されたが、25年度はどうか。

町長 25年度は中学生の災害地への防災学習事業は予定していないが、大変重要であると考えられる。何とかその機会を作っていくよう考え、それができたところで再度議会にお諮りする。

問 いじめ、不登校の課題に対し、指導協力員、支援員の配置はどのようであるか。

町長 これまでの小学校に加え、中学校と適応指導教室に指導協力員を配置する。教育支援員についても特別支援学級や通常級での体制の充実を図った。

予算特別委員会での主な質疑 4日間で延べ75人・157問

公債費推計

問 返済金より借入金が多い。予算編成での財政課の考えは。

答 ごみ処理広域化、緊急防災・減災対策などの特別な事業に対し、借り入れる。

問 借入金を減額するため、補助金・交付金等、事業の精査が必要ではないか。

答 財政健全化計画の見直しにも取り組む。

ごみ処理広域化

問 1市2町ごみ処理広域化で経費はいくら安くなるのか。

答 広域化で運営費が5億4千万円ほどかかっているものが、大体3億円ぐらい削減できると考える。

狭あい道路整備事業

問 昨年と比べ4千万ほど減額である。事業に支障はないか。

答 要綱では、道路後退部分は購入または寄附となっている。行政評価では寄附のPR、経費の削減の結果が出た。工事請負費を計上せず、修繕料も減額した。影響のないよう対応する。

問 対策事業の増額理由と今後の対策は。

答 樹幹注入と伐採の見込み増で増額した。樹幹注入で枯れを防ぎ、枯れしにくい抵抗性の松を植樹して、保全に努める。

松くい虫被害対策

問 町観光協会に補助金

答 地域公共交通会議で、低利用率の路線はダイヤ改正や廃止を含め、検討する。

生活交通確保対策事業

問 赤坂台など空白地域への対応、高麗など利用者の少ない路線の廃止を含むダイヤ改正等、どう進めるか。

答 町観光協会には毎年1千400万円以上の事業補助がされている。補助金額の見直し、ガイドボランティア協会との連携をどう考えるか。

町観光協会補助金

問 町観光協会に補助金収支報告書

答 補助金要綱に基づき、事業計画書、収支算書、実績報告書、収支報告書の提出がある。個人や団体の補助金など項目が沢山あるが、一冊を閲覧できるように情報提供を検討する。

問 本庁舎駐車場機械整備

答 設備投資して黒字になる見込みがあるのかを検証したうえで、機械化は検討していく。

補助金収支報告書

問 町は補助金団体から収支報告書を受け取っているか。また、議会への情報提供をもらえるか。

答 補助金要綱に基づき、事業計画書、収支算書、実績報告書、収支報告書の提出がある。個人や団体の補助金など項目が沢山あるが、一冊を閲覧できるように情報提供を検討する。

本庁舎駐車場機械整備

問 本庁舎駐車場管理

答 設備投資して黒字になる見込みがあるのかを検証したうえで、機械化は検討していく。

問 高齢者団体が使用する場合、ふれあい会館は使用料を半額にしているが、図書館は半額にしている。見直しの考えは。

答 料金も含め、減免規定についても見直しを検討していく。

公共施設使用料

問 荒廃農地対策

答 商品開発等の経済効果も見越した中で、民間団体等の寄附協力等を検討したい。

荒廃農地対策

問 対策の考えは。

答 荒廃農地を3パターに分け、対策を講じている。ヤギを放牧し雑草対策する。

問 観光PRのうえで、「あおみ」の着ぐるみ作成の考えは。

答 商品開発等の経済効果も見越した中で、民間団体等の寄附協力等を検討したい。

地震防災対策緊急推進

問 市町村への補助金

答 防災資機材整備事業、防災設備維持事業、防災行政無線整備事業等に配分。

観光PR

問 観光PRのうえで、「あおみ」の着ぐるみ作成の考えは。

答 商品開発等の経済効果も見越した中で、民間団体等の寄附協力等を検討したい。



雑草対策で実験放牧中の仔ヤギ

保育園給食事業

問 食物アレルギーの対応は。

答 食物アレルギーのある児童は、国府保育園に4名いる。ピーナッツとごまアレルギーの児童には除食、牛乳アレルギーの児童は豆乳に変えている。

大磯運動公園の減免

問 体育協会は補助金や野球場使用料の減免を受けているが、見直すべきでは。

答 見直しを考えていきたい。

図書館の空調設備

問 空調設備の改修と設計委託の予算立ては、設計委託で改修箇所を抽出してから全体的な改修計画を立てると思うが、3か年計画が既にあるのはなぜか。

答 3台のうち1台が昨年壊れ、12月補正で緊急修繕を検討したが、配管も古く図書館全体を考え補正を見送った。教育施設の修繕計画は10年スパンで考えており、今回は3か年で修繕する計画で予算計上した。

幼稚園の預かり保育料

問 保育料が前年度より増えた理由は。預り保育には専任保育士が必要と考える。

答 保護者のニーズが高まり、利用実績に基づき増額した。大磯とたかとりに1名ずつ配置し、国府は幼稚園教諭で対応する考えで予算計上したが、1園に各1名の配置としていきたい。

不育症治療

問 助成額と人数は。

答 不育症治療費は保険適用がなく経済的負担が多いため、3名に各10万円を上限額とし、合計30万円を新規に予算計上した。窓口既に2名の問い合わせがあり3名とした。

飲料水の対応は。

問 市町村と比較し、二宮町の例により上限額を5万円とした。

答 町の備蓄飲料水を早急に幼・保に備蓄する。

平塚市の火葬場利用に際し、全額9万5千円を上限補助したものを、過去に半額にしたり全額に戻したり、一貫性がないが。

問 25年度の取り組みと昨年末に実施したアンケートの意図は。

答 25年度は準備年として、受入れ先やポイント管理・施設の登録準備等に取り組み。アンケートは年齢層や活動内容や意見等を調査した。

予算特別委員会

委員長 吉川重雄

副委員長 高橋富美子

委員 奥津勝子

二宮加寿子

三澤龍夫

竹内恵美子

高橋英俊

坂田よう子



お母さん読んで・図書館いそちゃんひろば

防犯灯の整備

問 防犯灯の数とLED化の実績は。管理を町ではなく各自治体が行っている自治体があるが、町の考えは。

答 防犯灯数は約3千750本あり、LED化は21年度から4年間で69本である。自治会の協力については検討していきたい。

火葬料補助金

問 補助金を大幅に減額した理由は。

答 昨年11月の行政評価において、全額補助する必要性は認められず、事業の抜本的な見直しが必要と指摘を受けた。近隣

防災備蓄飲料水

問 小・中学校は独自に飲料水を備蓄して

答 小・中学校は独自に飲料水を備蓄して

いるが、幼・保の飲料水の対応は。

介護ボランティアポイント制度の導入

24年度を「改革の年」と位置付け、財政・政策サイドでは見直しが必要であると考えた。2度の行政評価の結果を踏まえ、25年度予算では減額とした。

一般会計予算に対する修正案を提出

予算特別委員会の全会計の質疑終了後、委員間での自由討議を行い、提案者・高橋英俊委員、賛同者4名から修正案が提出された。

修正案の内容

火葬料補助金の大幅な削減は唐突である。町民への周知を図りながら、慎重に議論を重ね検討すべきとし、24年度と同額の補助を行うよう、予備費から1千万円を増額修正するというもの。

火葬料補助金の変遷

かつて町には火葬場があったが、取り壊した後、昭和57年から補助金の交付が始まった。

他市の火葬場を利用した場合、平塚市9万5千円、小田原市3万



修正案を提出した予算特別委員会

討論

修正案及び修正案を除く原案に賛成

8千円、秦野市3万円の費用がかかり、町は上限9万5千円を補助してきた。補助件数は年間約330件あり、うち8割が平塚市を利用している。

- 16年4月から半額。
- 20年4月から上限9万5千円に戻す。
- 25年度当初予算案25年4月から上限5万円とする。
- 修正案は、上限9万5千円のままとする。

金が元利償還金を上回った予算は残念。狭あい道路事業も大幅に減額され、道路行政に不安を感じる。図書館の改修事業では計画性が見られない。公共施設全体の修繕計画の策定を緊急に要望する。

修正案も原案も反対

分で、納得できない。今後は町民の理解を得ながら段階的に減額する等議論が必要。県から認定された観光行政は、オール大磯の協働の力で実現を期待する。

○昨年度の一般会計予算付帯決議の幼・保・小・中への災害

時備蓄品、荒廃農地対策、生活公共交通対策は執行が不十分、25年度予算立てても不十分であるが、修正案に賛成する。

○町税収入が6年連続で減額する中、借入

修正案に反対し、原案に賛成

○火葬料補助金減額は議会の意見を聞く必要があったが、補助金総額の推移は右肩上りで行政改革が必要である。

○火葬料は議会への説明不足であるが、優

先順位をつけて予算編成された。重要課題の新しい観光の核

づくり・子育て支援・健康対策・廃棄物処理・危機管理に

全力で取り組んでもらいたい。

○防災基盤整備や社会

保障を重点に計上されている。火葬料は

毎年多くなっており、減額する必要がある。

限られた財源の中で厳しく減額をされる

ことが多くなる。公平公正な執行を望む。

特別会計予算に反対

○国保事業では、インフルエンザの予防接種費用を全額自己負担としたことは問題。

○介護保険事業では、一般会計とリンクさせ、ニーズに応える独自施策を設ける必要がある。

○下水道事業は、下水道料金の値上げ後、下水道料金の未納額が増えている。

特別会計予算に賛成

○介護ボランティアポイント制度導入で、介護保険の歳出抑制を望む。

一般会計予算は修正案及び修正案を除く原案を、また4特別会計予算は原案どおり賛成多数で可決した。

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果	
		奥津勝子	二宮加寿子	土橋秀雄	三澤龍夫	片野哲生	竹内恵美子	高橋富美子	鈴木京子	高橋英俊	吉川重雄	関威國	坂田よう子	清水弘子		渡辺順子
1	大磯町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
2	大磯町議会政務調査費の交付に関する条例及び大磯町議会基本条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
3	大磯町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
4	大磯町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
5	大磯町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
6	大磯町道路構造等の基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	可決
7	大磯町準用河川に係る管理施設等の構造に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
8	大磯町新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
9	大磯町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
10	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
11	大磯町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
12	大磯町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
13	大磯町都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
14	大磯町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
15	町道（高麗47号線、高麗48号線、高麗49号線及び高麗50号線）の認定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
16	町道（西小磯84号線）の認定について	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
諮問1	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	異議 のな い旨 答申
諮問2	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
諮問3	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
諮問4	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
17	平成24年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	欠	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	—	可決
18	平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
19	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
20	平成24年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
21	議案第21号平成25年度一般会計予算に対する修正案	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	●	●	●	—	可決
	平成25年度一般会計予算 —修正案を除く原案—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	可決
22	平成25年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	可決
23	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	可決
24	平成25年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	可決
25	平成25年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	可決
26	平成24年度一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
27	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 —は議長が賛否に加わっていない場合

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、2月25・26日に9人の議員から24問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

高橋 富美子

小学校給食における食物アレルギーのある児童への対応はどうか

答 慎重かつ丁寧に
対応するようお願いする

問 小学校給食での食物アレルギーのある児童への対応はどうか。

町長 大磯の両小学校において、慎重かつ丁寧に対応するようお願いする。

問 学校全体での共通認識や情報の共有化はどうか。

教育長 保護者からの情報を、担任、養護教諭、栄養士、管理職で共有し、全体の職員会議で共通理解している。

問 エピペン等、危険回避の研修はどうか。

教育長 練習用のエピペンを使用し、全職員

の講習をした。

問 乳幼児や小学生が安心して、安全に遊べる場所はありますか。

町長 公園の掲示板でボール遊びが禁止されているが、

園の規模等を考え、掲示板の文面をわかりやすく柔軟な表現へと検討する。

問 幼稚園、小学校、中学校の施設開放はどうか。

教育長 施設や管理面等を考慮し、幼稚園を含めた学校施設の開放を考えていく。

問 幼稚園では各園、週一回開放している。今後、土日、祝日、長期休暇の開放も含め、保護者の方とルールや基準を作る。

問 公園の掲示板でボール遊びが禁止されているが、園の規模等を考え、掲示板の文面をわかりやすく柔軟な表現へと検討する。

問 幼稚園の預り保育の充実はどうか。

町長 卓話集会で拡充の要望を伺っている。ニーズ調査を実施し、早い時期に検討する。

教育長 実施回数、曜日、専任保育士の配置の要望がある。今後、充実に向け検討する。



子育てに活発な意見 卓話集会・大磯幼稚園

二宮 加寿子

文化や音楽、芸術発表の場をどう捉え、
どのように考えているか

答 平成25年度スタートする新しい
大磯町生涯学習推進計画で検討

問 文化や音楽、芸術は、心の安らぎを与えるところとともに、未来を担う夢を持った子ども健全育成を推進する上でとても重要と思う。文化人や芸術家が大磯町に多く在住されており、その発表の場をどう捉え、どのように考えているか。

町長 文化芸術は子どもたちの創造性を育み表現力を高め、相互理解や多様性を受け入れる豊かな心を育むものである。

平成25年度スタートする新しい大磯町生涯学習推進計画ではサブタイトルとして「文化創造のまちづくりのた

めに」とうたっている。町の文化芸術活動にも重点を置いたものは、発表の場、機会提供は、文化祭を始め、社会教育団体やNPO団体の開催する講座、講演会の支援。その他文化団体にも提供、活動成果を町内、町外へ向けても発信できる仕組みづくりを検討する。

問 小・中音楽会など上達を感じる。本物に触れる喜びが大事だと思うが。

教育長 学校では音楽と演劇の公演、生の演奏、演技に触れる機会を多くつくりたいと思う。

問 新たな情報発



（助）神奈川フィルハーモニー管弦楽団
国府小学校にて

問 環境省の試算では、小型家電は年間27万9千トンが破棄され、その中に含まれる有用金属の価値は84億円にのぼると言われている。平成25年4月から小型家電リサイクル法が施行されるが、施行に先立ち「かながわモデル」による取り組みも行われている。そこで現状の小型家電の取り扱いには、今後この制度をどう扱うのか。

町長 循環型の社会形成という思いはしている。方向性に町は目を向けている。

問 町としても、ごみ処理だけ考えず、福祉面とタイアップし、就

片野 哲生

小型家電リサイクル法への
対応について問う

答 協議会の中で検討していきたい

問 職の機会を与える考えは。建設経済部長 有用な資源を活用し、障がい者の社会促進となるという面を踏まえ、協議会の中で検討していきたい。

問 現在町内には、環境美化センターで作業している団体を含め、福祉団体がどのくらいあるのか。また小型家電リサイクルに取り組んでみたい事業所はあるのか。

町民福祉部長 町内に障害者福祉事務所は4カ所で、その中で就労継続支援

3カ所。地域活動支援センター1カ所である。現在、問い合わせが1カ所ある。昨年度、町で策定した障害者福祉計画に基づき、就労を希望の雇用につながるよう、今後、積極的に応援していきたいと考えている。



有用金属が含まれる小型家電

坂田 よう子

子ども・子育て関連三法に先駆け、卓話集会を開催、子育て支援の展望は

答 町の責任者として直接に聞くことの意味は非常に大きい

問 町は「子育てしやすい町 大磯」をテーマに卓話集会を行っている。平成27年施行「子ども・子育て関連三法」の先駆けとして、町の子育て支援推進の意気込みを感じる。子育て支援の展望は。

み込んだ交渉を行う。

設置の要望は、極めて大きい。故横溝千鶴子先生の崇高な志で運営をされている子育て支援センターへの評価が高い故である。展望は。

問 町独自の幼稚園就園奨励金は、小磯幼稚園が私立移管される際の要望だった。三法の根幹である幼児教育制度の構築に不安を持たれない対応を。

教育部長 恒久的な展開のできる場所の確保を前向きに取組む。

問 長期休暇中の子どもの居場所づくりには、早期の対応を求める。

教育部長 既に、具体的検討に入っている。

問 東部地区の子育て支援センター

その他の質問
新たな観光の核づくり

問 財政状況を考慮しつつも可能な限り対応を図ると回答をした。

三法で検討する。

問 産科再開は。

町長 アンケートや卓話要望も多く、一歩踏

問 町独自の幼稚園就園奨励金は、小磯幼稚園が私立移管される際の要望だった。三法の根幹である幼児教育制度の構築に不安を持たれない対応を。

教育部長 恒久的な展開のできる場所の確保を前向きに取組む。

問 長期休暇中の子どもの居場所づくりには、早期の対応を求める。

教育部長 既に、具体的検討に入っている。

問 東部地区の子育て支援センター

その他の質問
新たな観光の核づくり

問 財政状況を考慮しつつも可能な限り対応を図ると回答をした。

三法で検討する。

問 産科再開は。

町長 アンケートや卓話要望も多く、一歩踏

清水 弘子

駅前自転車駐車場整備を周辺の景観と調和し、進めてほしいが

答 時間的制約もあるが、じっくりと意見をまとめながらやっていく

問 駅前自転車駐車場整備を周辺との調和を壊さず進めてほしいが。

委員会も平成25年度、早い時期に立ち上げる。

その他の質問

町長 駐車場は2カ所あり、老朽化と民間施設借上げ期間が近く満了を迎える。

取得した約5千㎡の土地の一部に駐輪場を整備するため、基本設計を進めている。

①星様グループ国際学園から保証金1億8千万円は支払われたか

町長 駐車場は2カ所あり、老朽化と民間施設借上げ期間が近く満了を迎える。

取得した約5千㎡の土地の一部に駐輪場を整備するため、基本設計を進めている。

②鴨立庵西側の葬儀場建設の白紙撤回を

町長 駐車場は2カ所あり、老朽化と民間施設借上げ期間が近く満了を迎える。

取得した約5千㎡の土地の一部に駐輪場を整備するため、基本設計を進めている。

③地域ごとの防災訓練で見えてきた課題と成果は

町長 駐車場は2カ所あり、老朽化と民間施設借上げ期間が近く満了を迎える。

取得した約5千㎡の土地の一部に駐輪場を整備するため、基本設計を進めている。

駅前前は景観重要地区でもあり、良好な景観形成、駐輪場以外の土地の有効活用に配慮した敷地設計など、仕様書に特記して委託した。自転車駐車場対策協議会を開催、意見や提案は今後の基本・実施設計で検討していく。土地利用を検討する



卓話集会(こいそ幼稚園)



清水議員が示した整備イメージ図

吉川 重雄

観光協会は何千万円の補助金を受けている中で役目を果たしているか

答 指摘された点は胸に突き刺さる思い何とか努力していく

問 観光推進を進めていく上で、観光協会とガイドボランティア協会の連携が必要ではないかと感じている。

実践部隊として活躍しているガイドボランティア協会には24年度に補助金はなく、観光協会には年間何千万という補助金が出ているが、観光協会は本来の役目を果たしているのか。

25年度予算案では、町観光協会に運営委託している鴨立庵と藤村邸の補助金が増額されている。鴨立庵は収入77万円しかなく、800万円近い補助金が投入されている。費用対効果、今の町財政を考え

でも、見直し改善しなければおかしと思う。

例えば、二宮町の徳富蘇峰記念館は入場料700円で案内ガイドが行われている。日本三大俳諧道場の一つである鴨立庵の入場料は100円で案内はなし。

以前から観光協会は、運営を見直すこともなく、補助金が少ないから何もできないと言いつづけてきた。

人心を一新なさいと言わざるを得ないが、町の考えは。

町長 ご指摘いただいたことは胸に突き刺さる思いであり、私自身もパ

ンチを食らった思いである。何とか努力していく。

その他の質問

○24年度一般会計予算付帯決議案は、25年度予算にどう反映されたか（災害発生時の児童・生徒の安全確保、荒廃農地対策等）

○高齢者対策に対する具体的対策を問う

鈴木 京子

協議が不十分な葬儀場について協議の場の設定を伝えないか

答 町民が選んだ町長なのでできる限り努力する所存である

問 役場隣の葬儀場建設地は、面積が350㎡、駅前東駐輪場の490㎡に比べ狭い。

助言提案を受け留意点が示されたが、住民は協議が終っていないと訴えている。

国道部分の緑化はほど遠い状況で、鴨立庵の庭園から眺望に配慮したというが、住民が納得されたかもわからない。

て帰ったが、回答がない。町民が選んだ町民の代表である政治家として、町長はもう一度事業者と住民の協議の場の設定を伝えていた

その他の質問

町長 住民と事業者双方が誠意をもって計画内容について話し合うことになる。今後は指導書の交付をするが、町は今後住民の意見を伝え他の用途への転換や、代替地の検討を図る。

町長として、自分の責務に忠実に町民の選んだ町長なので、できる限り努力してまい

○西小磯と東小磯のマンション計画・町道幹線16号線・マリア道・駅前自転車駐車場・万台こゆるぎの森のサツカー場擁壁の検査等は町民要望が生かされているか

○財政運営について

○住民投票について



鴨立庵の俳諧道場



残したい鴨立沢付近の風景

あなたの要望はこうになりました

詳細はホームページで閲覧できます

採択となった陳情

◆大磯町議会の本会議

場に国旗の掲揚を求めることについて

敬愛の心情が養われるためにも、大磯町議会の本会議場に国旗を掲揚するよう求めるもの。

賛成意見

陳情者は、日本会議神奈川湘南西支部支部長、吉野稜威雄氏。内容は、国旗「日の丸」が町民に親しまれ、象徴として考えること

は、憲法第19条により自由であり、議場に国旗掲揚は良いと考え「などがあつた。

反対意見

「掲揚とすることは、言論の府にふさわしいとは言えない。自衛隊を国防軍とする動きも合わせ危険する」などがあつた。

賛成多数で採択

※なお、運用については議員全員協議会で協議していく。

多くの議会が研修で来庁

他議会の視察を受入れることで得られる情報・知識も多いため、議員を6班に分け、対応している。今後も積極的に視察研修を受け入れていく考えである。

- 平成24年度は6つの議会が来庁した。
- 静岡県小山町
- 栃木県高根沢町
- 埼玉県川島町
- 三重県松阪市
- 山形県庄内町
- 群馬県板倉町



小山町議会との意見交換

1市2町ごみ処理広域化 総務建設常任委員会で調査を継続

町議会では、1市2町ごみ処理広域化における厨芥類資源化施設等について、継続して調査を行っている。

2月8日、大磯町に

設ける厨芥類(生ごみ)資源化施設について、導入調査業務委託の中間報告がされた。

内容は、1市2町の地域特性、全国の施設設置状況や技術動向等である。

をまとめる際に、金額を入れる。

問 厨芥類資源化施設

がうまく稼働している話を聞かない。施設分担は必要だが、調査結果報告をどう活用していくのか。

答

報告書を取りまとめ、1市2町の会議で議論を進めるが、議会の意見を踏まえ検討していきたい。

問 ごみの分別は、プラスチックを分けるだけでも大変である。

生ごみと他の燃えるごみを分けると思うが、高齢化もあり、うまくいくのか。

答

実施が決定され、生ごみを分別する場合は、周知期間を長くとり、説明の回数も増やす。広報や回

覧だけでない、他の方法も考えていく。

問 国では再生エネルギーを高く買い取る

は考えているか。

答

美化センターの敷地内で可能か、検討が必要。これから処理方式等を決めるが、費用対効果のみでなく、様々な観点から検討を行いたい。

問 3月18日が報告書の提出期限だが、今後のスケジュールは

あくまでも検討材料。今回は具体的な数字等を示した報告書をまとめ、内容を検討し、早めに方向性を決めていきたい。

答

総務建設常任委員会では、閉会中も審査を続け、町民に知らせていく。

主な質疑

問 実際にこの施設を導入した市町村は。

官と民、それぞれ運用しているが、3市と非常に少ない状況である。

問 建設・運営の費用

は把握しているか。まだだが、報告書

議会 スナップ



町道認定の審査にあたり、現地を確認



東北・福島の子供達に送る募金活動を実施
(大磯市にて)
皆さまからいただいた10万480円をあしなが育英会と大槌町に送りました。
ご協力ありがとうございました。

議会報告会に ご参加ください

議会の活動等を町民の皆さまにご報告するとともに、皆さまからご意見をいただき議会運営の改善を図っていくため、予算議会後の議会報告会を開催します。

是非、ご参加ください。

テーマは、平成25年度予算について 他

とき	ところ
5月18日(土) 13:30~15:00	月京会館 1階多目的ホール (駐車場はございません)
5月18日(土) 19:00~20:30	保健センター 2階研修室



昨年11月の議会報告会(月京会館)

※当日はこの『議会だより』をお持ちください。

6月定例会

- 6月 3日(月) 議案上程等
- 10日(月) 一般質問
- 11日(火) 一般質問
- 18日(火) 委員長報告等

※SCN(ケーブルテレビ)にて放映

陳情・請願

町政などへ意見や要望があるときは、誰でも陳情書や請願書(議員の紹介が必要)を議会に提出することができます。
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。
61-4100(内線281)

提出の締め切り
(6月定例会分)
5月23日(木)
午後5時まで

【編集後記】

3月定例会でも、多くの課題に対し議員一人ひとりが真剣に議論・審議し、課題に向き合いました。

今号から、長年の懸案だった「文字を大きく、読みやすく」が実現できました。

超高齢化社会が目の前にきているこの町を、町民の皆さまと一緒に考える上でも、議会だよりが役割を発揮できるように、編集委員一同努めてまいります。

議会だより編集委員

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 鈴木京子 |
| 副委員長 | 二宮加寿子 |
| 委員 | 片野哲生 |
| | 高橋富美子 |
| | 高橋英俊 |
| | 関威國 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 渡辺順子 |
| 副議長 | 奥津勝子 |